

解いて憶える記憶アプリ「Monoxer」 のご紹介

- 1 **1回2分**、クイズ感覚で問題を解いて憶える記憶アプリ！
- 2 定着から復習までをAIがサポート、「**憶える**」が簡単になる！
- 3 **記憶がデータ化される**から、やった分だけ成果が分かる！

「憶える」は大変なこと？

定期テスト、検定試験、入試などたくさんの試験に向けて憶えることはたくさんあります。例えば英単語。今まで紙に書いたり、本を眺めたりしてすごく集中して、たくさん大変な思いをしてきたと思います。それでも、自分がどれくらい覚えられているのかはあいまいで、テストまでに忘れてしまうこともしばしば。

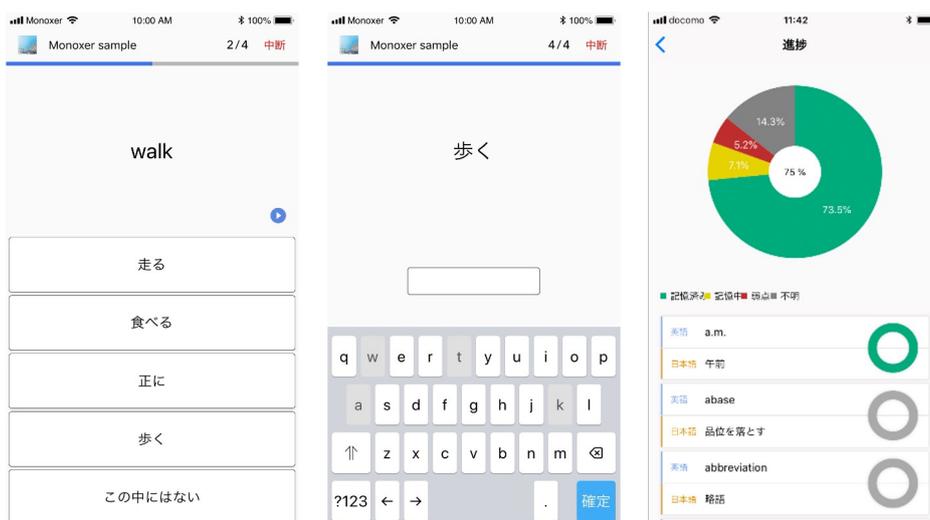
テストが終わればすぐに忘れてしまって、また次のテスト前に頑張って憶え直して、なんだか非効率な気がする...



誰でも憶えられるから、成績が上がる

Monoxerであれば、あなたがどれくらい憶えているか、どうやって忘れるのか、何が得意で何が苦手かをAIが正確に測定します。あなたの記憶に合わせて問題の難易度が変わるので、出てくる問題を解き続けるだけで**自然に、苦しくなく、気づいたら記憶定着が進んでいます。**

グラフで表示される自分の記憶を見れば、いつでも自分の苦手が分かります。さらに忘れ方に合わせた復習問題も出されるので、テスト前に忘れることなく**確実に成績を上げることができます。**



保護者の皆様へのお願い

端末の貸し出し

Monoxerはスマートフォン、タブレット上のアプリでご利用いただけます。生徒様が端末を持っていない場合は無理のない範囲で保護者様の端末をご利用いただけますと幸いです。



お取り組み状況のご確認

アプリ上で学習回数や記憶状況など生徒様のお取り組み状況をご確認いただけます。ぜひ生徒様とのコミュニケーションにご利用くださいませ



AIにより生徒様一人ひとりの定着度に最適化した問題演習と記憶定着が可能に

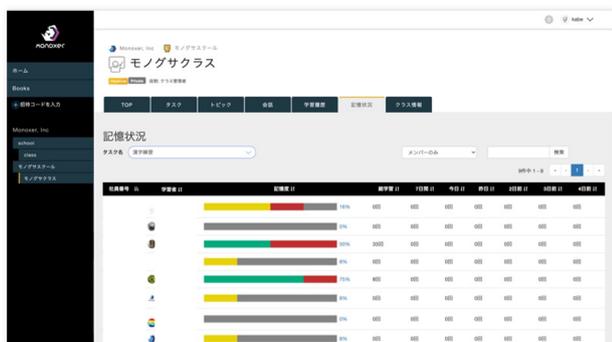


生徒様に合わせた出題難易度の調整

学習に取り組み生徒様一人一人の学習履歴をすべて測定し、AIが記憶度を判定。記憶度に合わせた難易度変化を自動で行うことで、だれでも「自分に最適な難易度の問題を解き」「誰でも確実に記憶定着を実現する」ことが可能となります。難易度の変化は無数に存在するため、生徒様一人一人、範囲は同じでも全く異なる問題集となっていきます。

定着度はAIが客観的に判定、計測

紙の教材やいくつかのアプリでは「憶えられたか」を自分自身やその時その時だけの確認テストで確認するしかありませんが、Monoxerは各難易度ごとの正誤情報や回答履歴をすべて集計しており、「今どれだけ憶えられているか」をAIが判定・計測します。学習履歴はもちろん、これまであいまなかった生徒様一人一人の「記憶度」を客観的に、正確に測定することが可能となります。



データを元にした学習指導

成績の向上のためには、どうしても一定量の暗記が必要となります。しかし暗記が苦手な生徒様も多く、必要な範囲をどれくらい憶えさせているか生徒様自身も把握できていないことも多くあります。ですがMonoxerを取り入れることで、上記画像のような画面で学習状況、定着度を先生がリアルタイムで確認できるようになります。今までどうしても見えない部分の大きかった自学自習の状況に対するフォローや指導も可能になると考えております。

質の高い学習環境の構築

お持ちのスマートフォンやタブレットで塾が用意した相当量の問題演習の実践が可能のため、場所を選ばず学習量を担保できます。また、出題内容が理解度に合わせて自動で調整されるため、生徒様一人一人に最適化された質の高い学習環境の構築ができます。学習環境を構築することにより、一層の学習の習慣化と今まで以上の授業理解向上や成績向上を見込めると考えております。

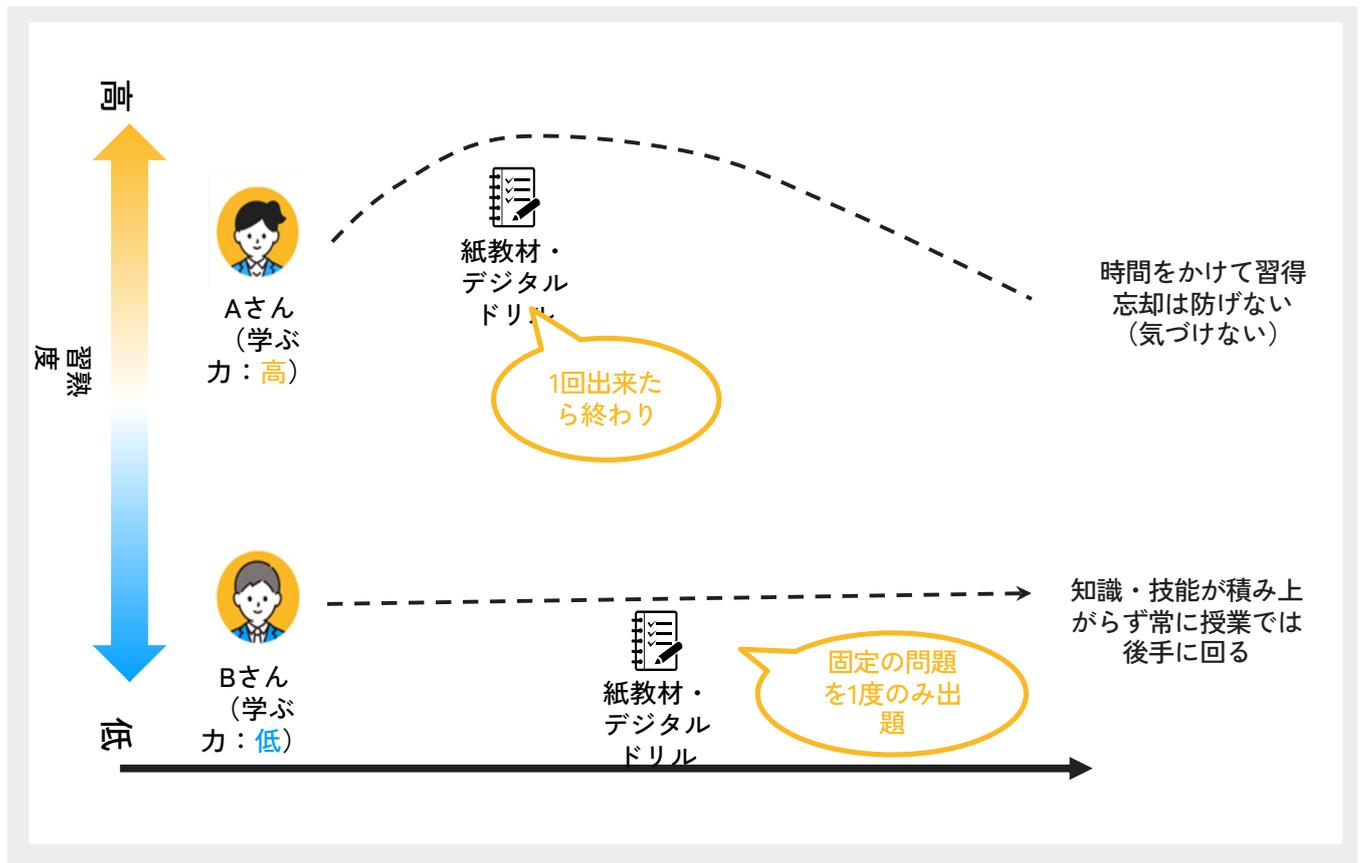
生徒様が学習し記憶定着を図れる問題の範囲や内容は、学年や科目に合わせて塾側で用意をいたします。お持ちのスマートフォンやタブレットで学習可能なため、場所を選ばない自学自習・記憶定着・問題演習のため、ご理解を賜りましたら幸甚でございます。

App StoreまたはGoogle Play
からダウンロードが可能です！



生徒自身の学ぶ力に頼ることなく 誰でも覚えやすく、忘れにくい学習体験を提供

学習の効果の違い・イメージ図



楽しく・効率よく学べるように、個人ごとの差への対応、目に見えない学習傾向への対応で効果的な定着活動の実現をMonoxerの機能がサポートします。

全員が実践する難しさ	対応するMonoxerの機能性
多回数の反復には多回数の出題・採点が必要	全問題自動出題・自動採点
人によって必要な反復回数が異なる	定着状態までの出題回数を個別最適化
難しすぎる問題は解けずに手が止まってしまう	定着度に応じて全問題のヒントの量を個別最適化
いつ・何を忘れてしまうのか自分でもわからない	1人×1問ごとに忘却速度を予測、復習の頻度・回数を個別最適化

Q&A（よくある質問）

① ログインできません。

ログインID、パスワードが間違いないかを確認してください。全角、半角の違い、0（数字のゼロ）とo（アルファベットのo）などに注意して入力してみてください。

② 記憶度がなかなか100%になりません。

同じ問題を何度も間違えてしまうとAIが「覚えた」と判定を下すまで記憶度は上がりません。履歴を確認して正しい解答を一度確認しましょう。

③ 通信量が不安です。

ダウンロード時は一定の容量が発生しますが、学習時の通信量の目安としてはMonoxerの1時間とYoutubeの10秒が同じ程度です。Monoxerでは1日あたり10分～15分程度学習いただくことを想定しております。

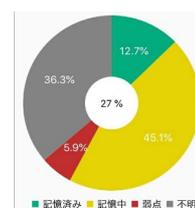
④ 複数の端末で利用できますか。

複数の端末で利用できます。保護者様がログインして、お子様の状況を確認することも可能です。また、機種変更をした場合、ログインIDとパスワードを再入力することで引き続きご利用できます。

⑤ オフラインで使用できますか。

一度ダウンロードした後はオフラインで使用できます。そのため、電波の悪い地下鉄といった環境下でもスキマ学習が可能です。ずっとオフラインのままだと塾側の管理画面でお子様の取り組み状況が分からないので、定期的にオンライン状況下でmonoxerを開いてください。

⑥ 記憶度の見方が分かりません。



緑：記憶完了（最も難易度が高い問題を出題した際に、ほぼ確実に正答できるとAIが判定した状態）
黄：記憶中 赤：苦手 灰：不明、まだ出題されていない
※学習の期間が空くと徐々に記憶度は下がります。

その他Monoxerについてのご質問がございましたら
info@monoxer.comまでご連絡ください。